

卒業生によるボランティア活動グループわ 会報

# 情報ギャラリー

第27号

## 情報ギャラリー第27号

発行日 2004年7月23日  
 編集 グループ“わ”広報部  
 発行者 赤司 松美  
 発行元 NPO法人社会還元センター  
 グループわ  
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103  
 Eメール group-wa@wa-net.jp  
 ホームページ http://www.wa-net.jp

## NPO グループわ の初仕事 こうべ環境未来館の管理運営

6月に開館したこうべ環境未来館の管理運営はNPO グループわ の初仕事です。その開館前後から現在までの状況など、管理責任者の田波久紀夫さんにレポートして頂きました。

神戸市は空き缶、空きビン、ペットボトルの選別・圧縮を行う施設として「神戸市資源リサイクルセンター」を西区の神戸複合産業団地内に開設し、6月1日に稼働しました。

これに付属している環境教育の拠点施設が「こうべ環境未来館」で、センターと同時にオープンしました。

竣工式には市長以下関係者と招待された市民の約200名が参加し、招待された木津小学校4年生85名が初来館の見学者となりました。

「こうべ環境未来館」という名称は応募32点の中から須磨区の主婦の作品が選ばれ、管理運営は神戸市の審査の結果、NPO法人社会還元センターグループわ が初仕事として委託を受けました。

正副責任者とコーディネーター(案内役)20名がローテーションを組んで、一日2名が常駐して、見学者の案内、団体見学申込の受付、建物の管理などの運営業務、環境学習講座の企画運営業務、KOBECODOMOエコクラブ事業の業務、再生家具、自転車の展示・提供業務などを担当しています。

事前の準備も時間が足りず、すべてが始めてのことは

かりで、ぶっつけ本番、不安一杯のスタートでした。失敗は絶対に許されないお客様相手の仕事ですから、全員が緊張の連続でした。

コーディネーターの方々の案内用ガイドブックは市・環境局で作っていただきましたが、充分ではないので、個人個人が各自で研修して、プラスアルファの説明内容を考え、種々の質問にどれだけ答えられるかが勝負でした。

開館以前から自主研修として、何回も案内の練習をするために、こられた方もありました。

開館後も案内者に同行して案内の仕方を勉強する人、自分だけのガイドブックを作られた方など、それぞれの方が、見学者に十分理解してもらえるように工夫されていました。

見学案内の中で、我々の考案した「ゴミ分別回収ゲーム」は小学生と先生には好評でした。家庭で出しているものと同じようなゴミを「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「リサイクルするゴミ」「店頭回収するゴミ」「荒ゴミ」「粗大ゴミ」に分別するゲームで、生徒には実際に分別作業をしてもらいました。ゲーム終了後、分別したものが正



しいか間違っているかを皆で討議して、分別の仕方・ゴミの出し方のルールを理解してもらおうゲームで、実際に作業したことで理解が得られたと思います。

婦人会等の団体で来られた方々も興味を示され、中には難しい質問(縫い針はどの区分に該当するのか)をされて、市の担当者でも返答に困ることもありました。

今は、各人が何回か案内の経験をされたので、自信を持って説明されていますが、見学者の多いときは各見学場所での時間配分には気を使っておられると思います。

KOBECODOMOエコクラブの事務や再生品(家具、自転車)の展示・提供業務もかなりの作業量があり、慣れるまではかなり時間が掛かりそうです。

環境学習講座は主に企画運営事業部の責任者・中島洋介さんが行っています。

今、未来館の敷地内をL型に池を作り、市民の皆さんと一緒に手作りでピオトープを

整備しているところで、8月末には出来上がる予定です。

月に1回程度はいろいろな講座がありますので、興味のある方はぜひ参加して下さい。パソコンのホームページ「こうべ環境未来館」で検索して頂ければ、最新情報がすべて掲載されています。

皆さん、ぜひ一度ご来館下さい。5名程度なら特に予約は要りませんが、確実に見学案内をご希望なら電話で予約してください。

(電話 995-3196)

開館時間は9時から17時で、水曜日は休館です。見学時間は1.5時間程度ですが、土、日は工場が休業ですので、工場の見学はできません。当館には自動販売機はありません。付近には飲食店もありません。各自、食べ物、飲み物を用意してご来館ください。予約いただければ、昼食場所は提供いたします。会議、打合せ等のできる会議室も用意しています。神鉄木津駅からは徒歩5分程度です。(園6-環 田波 久紀夫)